

## 情報通信分野カリキュラム（4ヶ月）

基本 条件	訓練科名	Javaプログラマ・基本情報対策科		標準定員	30人		
	訓練期間	4ヶ月	訓練のレベル	□初級 <input checked="" type="checkbox"/> 初～中級    □中級			
	訓練目標	Javaプログラミングに関する技術と知識を習得するとともに、情報処理関連の技術について幅広い知識を習得しIT国家試験である基本情報技術者試験取得とIT技術者として就職することを旨とする。					
	仕上がり像	Javaプログラミング言語によるソフトウェア開発の知識を有する人材。 IT国家試験である基本情報技術者試験取得を目標とし、IT業界での就業を希望する者にとって基本となる技術と知識を身につけた人材。					
	受講前提条件	パソコンの基本操作ができること。					
関連資格	基本情報技術者試験(任意受験、費用/有) Oracle Certified Java Programmer, Bronze SE7/8 (任意受験、費用/有) Oracle Certified Java Programmer, Silver SE8(任意受験、費用/有)						
訓練 内容	科目	教科の内容			標準時間 (最少時間)		
	学 科	基本情報技術者対策（コンピュータシステム）	コンピュータ構成要素、システム構成要素			30H (24H)	196H (156H)
		基本情報技術者対策（情報技術）	マルチメディア、ネットワーク、情報セキュリティ、技術要素、開発技術、企業と法務			54H (43H)	
		基本情報技術者対策（マネジメント、ストラテジ）	プロジェクトマネジメント、システム戦略、技術戦略、サービスマネジメント、システム戦略、経営戦略			48H (38H)	
		基本情報技術者対策（試験対策）	基本情報処理技術者試験対策（過去問題演習）			64H (51H)	
	実 技	プログラミング概論	基礎理論、プログラムの概要、Java、SQL、HTML ※Java中心であるが他の言語を比較紹介することで理解を深める目的			30H (24H)	206H (163H)
		アルゴリズム演習	アルゴリズムの説明文とプログラム内容の比較・読み取り、アルゴリズムの目的把握、プログラム入出力データの確認、定番処理パターンの演習			44H (35H)	
		Javaプログラミング演習（基礎）	プログラミングの基礎（変数、分岐、ループ、配列等）、Java言語文法			66H (52H)	
		Javaプログラミング演習（実践）	オブジェクト指向プログラミング（継承、多態性、カプセル化等）、グループによるプログラム作成演習			66H (52H)	
	その他	オリエンテーション、就職支援等	オリエンテーション（開講時、閉講時）各3H、 ジョブ・カード作成支援、個別相談、履歴書・経歴書の書き方と面接方法、キャリアコンサルティング			24H (24H)	24H (24H)
総訓練時間数（合計）					426H		

※上記設定のカリキュラムに準拠したカリキュラムでの訓練実施をお願いします。

※総訓練時間が426Hになるように、実施教育機関で各科目の時間数を決定してください。各科目の上記( )内の最少時間以上で設定してください。標準時間は、目安の時間であり最大時間ではありません。

※必要があれば「科目」、「教科の内容」を実施教育機関で自由に追加してください。変更・削除はできません。

※上記「関連資格」の取得を目指せる訓練を実施してください。「教科の内容」の具体的な訓練内容については、実施教育機関で決定してください。

※上記カリキュラムを実施するのに必要な「テキスト」及び「ソフトウェア」については、実施教育機関で決定してください。